

事業所防災リーダー通信 2026 Vol.14

事業所防災リーダーの皆さまへ、防災知識や防災に関するお知らせなどを定期的に発信します。

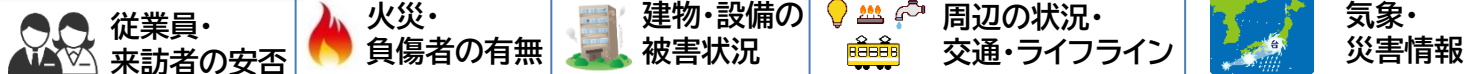


災害対応を支える情報収集

— 必要な情報を、正しく、早く、共有することが、的確な判断につながります —

令和8年8月千葉豪雨では、建物の浸水等大きな被害が発生しました。身近な災害に備え、浸水対策など改めて事業所の防災対策を見直しましょう。こうした災害時は、「何を判断するための情報か」を意識して集めることが大切です。地震や風水害など、災害の種類に応じた気象・災害情報を確認し、平時から確認する範囲や順番、情報の集め方・伝え方・記録方法を決め、事業所防災リーダーが必要な情報を確実に把握・集約できるよう準備しておきましょう。

まず確認する情報



集めた情報を、待機・避難・救護・業務継続などの判断につなげます

情報収集と共有の5つのステップ

① 確認する



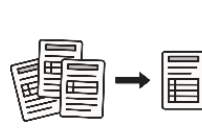
事前に決めた範囲・順番に沿って、安否・被害・周辺状況を確認する
*確認項目をチェックリスト形式にしておく効果的です

② 伝える



確認した情報を、電話、メール、チャット、無線、点検票などで
責任者に速やかに伝える

③ 集約する



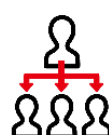
情報を一か所に集め、未確認情報は「未確認」と区別する

④ 記録する



時刻・情報源・確認内容を記録し、必要に応じて写真も残す

⑤ 共有する



社内で簡潔に共有し、次取るべき行動を明確にする

情報の確認先

- ⚠ 事業所防災リーダー専用Webサイト(オフィスページ)で、事業所所在地の防災情報を確認し、メールやLINE配信も活用する
- ⚠ 東京都防災アプリや気象庁「キキクル」などで、最新の災害・気象情報を確認する
- ⚠ SNSなどの情報は、発信元や内容を確認し、公式情報と照らし合わせる
- ⚠ 情報の更新時刻を確認し、最新の情報を把握する



事業所防災リーダー専用WEBサイト(オフィスページ)



平時に確認!

- ☑ 確認する範囲・順番を決めている
- ☑ 複数の伝達手段を準備している
- ☑ 情報の集約先を決めている
- ☑ 点検票・記録様式を用意している

参考資料 *東京都「[東京事業所防災実践マニュアル](#)」86～89ページ(PDF版44～45ページ) / *東京都「[東京防災](#)」56～57ページ(PDF版29ページ)
*東京都「[東京くらし防災](#)」119ページ(PDF版60ページ) / *東京都防災ホームページ「[東京都防災アプリ](#)」 / *気象庁「[キキクル\(危険度分布\)](#)」

東京都からのお知らせ

「働く人のための気象&防災 セミナー」受講者募集中

風水害対策に取り組む防災担当者の皆さま、ぜひご参加ください!

日時: 令和8年12月3日(木)18:00～20:00 開催方式: 対面
内容: 1. ビジネスにおける気象情報の利用と防災、地球温暖化と東京の気象災害
2. マイ・タイムライン(風水害時における避難行動計画)の作成

◆セミナー詳細: <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/mytimeline/1006597/1020511.html>
◆お申込み: <https://questant.jp/q/166RT4N1>



参加無料

風水害から命を守る!

東京マイ・タイムライン

セミナー詳細



お申込み

